立花生徒会新聞 Unity 通信

新年の抱負

昨年12月に生徒会役員選挙を行い、1月からは本格的に新生徒会執行部の活動が始まっていきます。まだ、旧生徒会執行部の皆さんに力を借りながらではありますが、精一杯仕事をしていきます。

旧生徒会執行部が行ってきた今年度の行事は、全て学校全体が一つにまとまっていて素晴らしいものばかりでした。それは旧生徒会執行部の先輩方が生徒の皆さんに協力してもらえるほどの努力と、それによる信頼を積み重ねてきたからだと思います。来年度の行事もみなさんが楽しんでくれるような素晴らしいものにしていくために新生徒会執行部は頑張っていきます。そのためにもまずは皆さんに信頼をしてもらえるよう、普段の活動からしっかりとこなしていこうと思っています。

今の新生徒会執行部は分らないことだらけで旧生徒会執行部の先輩方の様にスムーズに行事や委員会を進められないことがあるかもしれません。そして先生方や生徒の皆さんに迷惑をかけてしまうこともあると思います。ですが、そのような経験をしながら成長を積み重ねていき、行事などを成功に導いていきたいと思っています。それには生徒会執行部の力だけではなく、生徒一人一人の協力が必要です。学校全体でまとまって、ひとつの同じ行事に向かって努力をしていく事は簡単なことではありませんが、実際にそれが出来るとこの立花中学校は今よりさらに良い学校になっていくと思います。私たちが毎日通うこの学校を私たちの力でつくっていけるように今年度も皆さん一人一人のご協力をよろしくお願いします。

新生徒会執行部は朝の挨拶運動などの毎日続く活動をしっかりと確実に行い、大きな行事への準備を整えていこうと思っています。行事を成功させるためには皆さんの協力が必要です。しかし、皆さんからの協力をいただくには生徒会執行部の普段からの活動をしっかりと行う姿勢が大切だと思います。「小さな活動をしっかりと」という気持ちを常に心に置いて活動していきます。

タイトルについて

今年度の生徒会新聞のタイトルが「Ｕｎｉｔｙ」に決定しました。この「Ｕｎｉｔｙ」という言葉には、「大勢でまとまり、１つの目標に向かって努力すること」という意味があります。つまり「全校生徒で団結し、成長していく」ということです。タイトルは、執行部が良いと思った言葉や考えた言葉を出し合い、どの言葉がわかりやすく意味が伝わりやすいのか、どのように使われていくのか、などということも考えながら執行部全員で話し合って決めました。今回話し合いの際に出た他の言葉にも、「信頼」などというとても良い意味の言葉が出たのですが、それらの意味は今回の「Ｕｎｉｔｙ」という言葉の意味にも繋がり、また、行事だけではなく、普段の生活などにも使えるのではないか、という理由で「Ｕｎｉｔｙ」に決定しました。良い行事を作り上げていくということは、執行部だけが努力するのではなく、全校生徒のみなさんと団結して作り上げていくということが大切なのですが、学年やクラスが違っている人とどう協力していけばいいのか、と思うかもしれません。ですが、例えば、行事での一人一人の役割が違っていても、それぞれがその役割を1つのことのためにしているという考えを全員が持つことで、全体がまとまってくると思います。つまり、この「Ｕｎｉｔｙ」の意味である1つのことに向かって努力することで、学年やクラスが違っていても、団結することができます。１年間同じ目標に向かうこともとても良いことだと思いますが、「Ｕｎｉｔｙ」という言葉をタイトルにすることで、各行事で目標を立て、その目標に対して達成できなかったことや反省点を次の行事に対しての目標に取り入れていくことができます。こうすることで、学校全体が良い方向へ進むと思います。全校生徒が団結し、より良い学校を作り上げていくには、みなさんの協力が必要になってきます。この一年間「Ｕｎｉｔｙ」という言葉を心に留めて、より良い学校を作り上げていけたらと思いますので、これからみなさんのご協力よろしくお願いします。

Unityの意味
「団結」
仲間と信頼し合い、より良い学校へ

第1号　平成26年
1月20日　月曜日
尼崎市立立花中学校
生徒会新聞

冬休み終了

短かった冬休みが明け、3学期がスタートしました。突然ですがもう冬休みモードからは抜け出せましたか？この質問に「まだ」と答えた人は要注意です。

冬休みというのは大晦日やお正月といった行事があり、どうしてもダラダラと一日中を過ごしてしまいがちです。また、休みだからといって夜更かしをしたり・昼間で寝たりという人がいるのではないでしょうか。正直いうと私もダラダラと一日中を過ごすことがありました。しかし、この冬休みモードのまま3学期を迎えてしまうと学校の授業に集中出来なかったり・体がだるくなったりという症状に見舞われます。これは、冬休みに夜更かしなどをして生活のリズムが崩れたからです。生活のリズムが崩れたら病気になりやすくなります。なので、まだ冬休みモードから抜け出せていない人は一度自分の生活のリズムを見直してみてはどうでしょうか。

さて、3学期がスタートしたということは各学年やるべきことがあります。

例えば、3年生だったら受験が近づいてきます。なので、その受験に向けての勉強をしなければいけません。高校に行けるように勉強する。または、自分の入りたい部活があるから勉強する。と何かと今の3年生には「勉強」という言葉が頭を埋めつくしているのではないでしょうか。しかし、ここで忘れないで欲しいことがあります。それは残りの中学校生活を有意義なものにするということです。勉強という言葉で忘れがちになっている残りの学校生活というもの。これを忘れないでこの3学期を過ごして下さい。

そして、１・２年生は今の3年生に「あとは任せた」と思ってもらえるような態度と行動を心がけましょう。また、もうすぐしたら1年生は先輩になり2年生はこの立花中学校の顔になります。これらのことを今から自覚し今後の学校生活を過ごして下さい。もちろん、部活・勉強にも一生懸命取り組んで下さい。

各学年のラストスパートに入った今、自分のやるべきことをしっかりとし残りの学校生活を過ごして下さい。

健康情報

新しい年を迎え三学期が始まりました。冬休みの間に生活リズムを崩してしまい、体調が悪い人も多いと思います。また、気温の低下、空気の乾燥と共にインフルエンザが流行しつつあります。インフルエンザは感染力が強いため、一度流行すると学級閉鎖や学校閉鎖になってしまいます。今回はインフルエンザを流行させないためにも特徴を知っていただきたいと思います。まずインフルエンザの症状は、高熱、寒気、頭痛、関節痛、筋肉痛、咳やタン、喉の痛み、くしゃみや鼻水、腹痛や下痢などがあります。これら全ての症状が一度に現れるとは限らず、咳やタンなどの症状が出たり、腹痛などの症状が強く出たりなど、症状が違ってきます。しかし、これらは一般的に風邪とよばれる症状と似ている所があるので、ただの風邪だと思ったり、この時期に流行する、吐き気・下痢を伴う風邪と勘違いするとインフルエンザの大流行を招くことになってしまいます。そこで、風邪とインフルエンザの区別をつけるポイントを紹介します。一般的に風邪での熱は38度以下である事が多く、咳や鼻水、喉の痛みなど症状が主で、腹痛などは強くありません。そして、寒気などの全身の症状が現れた後に、咳や鼻水などの症状が出てくるという特徴があります。それに対し、インフルエンザは発熱前の寒気があり、38度以上の高熱が急にでて、短時間でおさまります。（場合によっては、39～40度まで上がることも珍しくありません）そして関節痛や筋肉痛・神経痛が多いです。（神経痛や関節痛は普通の風邪ではあまり起こりません）咳や鼻水などの症状がなく突然高熱が出たり、朝から38度を超えている場合はインフルエンザと疑ったほうが良いでしょう。普通の風邪は、発熱しても朝は37度台で夕方になると熱が上がるケースが多いからです。こういった条件にあてはまればインフルエンザにかかっている可能性が高いので、病院に行き検査をしましょう。三年生は受験です。日々の体調管理も受験当日に響くと思うので気をつけてください。

編集後記

３学期も2学期と同様、勉強・部活に一生懸命頑張っていきましょう。また、テストや受験勉強にも前向きに取り組んでいきましょう。（秋山・福地・高沢・松本）